

被災地 救援・原発止めろ

動労総連合・九州の訴えに込えよう

戦争と緊急事態法狙う安倍を国鉄ー7月選挙決戦で打ち倒せ

九州・熊本大震災は、新自由主義の30年がもたらした社会の崩壊と日帝・安倍政権の戦争・改憲、原発推進、総非正規職化と貧困の政治の帰結だ。大企業・大資本だけを富ませ、労働者人民を地獄に突き落とす「アベノミクス」の正体が暴かれている。2011年3・11東日本大震災ー福島原発事故から5年。今も終わりが見えない「3・11」の上に、さらに九州・熊本で壊滅的な被害が拡大している。結成されて間もない動労総連合・九州は、直ちに「熊本大震災現地救援本部」を立ち上げ、仮救援事務所を設置して、被災地救援活動を開始した。動労福島も救援アピールを発している。動労総連合を先頭に、全国の労働組合、労働者人民の力を結集して被災地救援に立とう。国鉄決戦の力を今こそ全面投入し闘おう。

新自由主義に未来ない

破産と崩壊を極限化する帝国主義・新自由主義に未来はない。5月伊勢志摩サミットも、2020年東京オリンピックも、沖縄・辺野古新基地建設も、直ちに全面的に中止しろ！ 「第2の3・11」とも言うべき九州・熊本大震災は、新自由主義と安倍政権の全面的危機と崩壊を一挙に加速する。これとの闘いは労働者人民が生きるための革命そのものだ。

資本家階級を打倒し、労働者階級が権力を握って、その団結した力によっ

てしか^{しゃかい}社会を^{うご}動かし^た立て^{なお}直すことはできない。全世界で^{ぜんせかい}巻き起^まこる^お労働者人民の^{ろうどうしゃじんみん}
^{たたか}闘いと^{だんけつ}団結し、^{かくめい}プロレタリア^た革命へと^あ立ち上^あがろう。日韓米中^{にっかんべいちゆう}の^{こくさいれんたい}国際連帯で
^{ちょうせんしんりやくせんそう}朝鮮侵略戦争を^{そし}阻止しよう。

4月14日に^{がつじゅうよっか}震度7、16日に^{しんど}震度7で^{くまもとちほう}熊本地方を^{おそ}襲^{おお}った^{おお}大地震は、さらに^{あそ}阿蘇
^{おおいたほうめん}一大分方面や^{ひなぐ}日奈久（ひなぐ）^{だんそう}断層が^{なんせいほうこう}のびる^{しんげん}南西方向へも^{ひろ}震源を^{いま}広げながら、今
^{かんだん}も^{よしん}間断なく^ひ余震を^お引き起^{しんど}こし（^{いじょう}震度1以上^{じしん}の地震は^{にち}19日までに^{かいちょう}600回超）、
^{はかい}破壊と^{ひがい}被害を^{かくだい}拡大している。この^{じしん}地震の^{はかいりよく}破壊力^{くまもとけんましき}は^{ましき}熊本県益城（ましき）町では⁹⁵95
^{ねん}年の^{はんしん}阪神・^{あわじだいしんさい}淡路大震災の^{ばい}2倍にも^{たつ}達した。

^{ひがい}被害は^{にちごご}19日午後11時^{じげんざい}現在、^{きゅうしゅうぜんいき}九州全域で^{ししゃ}死者^{にん}47人、^{あんびふめい}安否不明^{にん}5人、^{かんれんし}関連死^{にん}11人、
^{ふしょうしゃ}負傷者^{にん}1135人、^{たても}建物の^{ぜんはんかい}全半壊は^{とう}2479棟である。避難所^{ひなんしょ}に^み身を^よ寄せてい
^{にん}る人をはじめ^{ひなんしゃ}避難者は^{ぜんたい}全体で^{まんにん}20万人にも^{たつ}達している。

自治体が崩壊している

^{きゅうしゅう}九州・^{くまもとだいしんさい}熊本大震災は、^{しんじゆうしゅぎ}新自由主義と^{にってい}日帝・^{あべ}安倍が^{しゃかい}いかに^{ほうかい}社会を崩壊させてき
^{つだ}たかを^{ひがしにほんだいしんさい}突き出した。3・11東日本大震災以降、^{あべ}安倍は^まそれまでも^{しんじ}増して新自
^{ゆうしゅぎ}由主義の^{えんめい}延命、^{だいきぎょう}大企業^{かね}の^{ろうそきたい}金もうけや^{ゆうせん}労組解体を^{じちたい}優先し、自治体を^{こうてきぶもん}はじめ^{こうてきぶもん}公的部門
^{みんえいか}を^{がいちゆうか}民営化・^{そうひせいきしよくか}外注化・^{ちいきしゃかい}総非正規職化して^{ろうどうしゃじんみん}地域社会で^い労働者人民が^{げん}生きられない現
^{じつ}実をつくり^だ出してきた。

^{くまもと}熊本に通じる^{つう}JRや^{きゅうしゅうじどうしやどう}九州自動車道は^{じしん}地震で^{はかい}破壊され、^{ましきまち}益城町にある^{くまもとくうこう}熊本空港
^{そんかい}もターミナルビルが^{しゅつぱつてつづ}損壊して^{しゅようこうつうもう}出発手続きが^{しやうふのう}とれず、主要交通網は^{しやうふのう}使用不能にな
^{てつどう}った。鉄道、^{どうろ}道路、^{すいどう}水道、^{でんき}ガス、^{ほうかい}電気など^{ひがい}インフラの^{かくだい}崩壊と^{じちたい}被害の^{じちたい}拡大は、自治体
^{じんいん}の^{さくげん}人員を^{ちほう}削減し、^き地方を^す切り捨て、^{かそ}過疎と^{こうれいか}高齢化、^{ひんこん}貧困と^{こうはい}荒廃を^{そくしん}促進させた^{けっか}結果

だ。病院、学校、役所・役場は老朽化し、熊本市市民病院や八代市立病院は倒壊寸前となり、宇土（うと）市役所は崩壊した。小中学校の統廃合で避難所も足りない。

だから現地の自治体が対応できず、救援物資も被災者・避難者のもとに届かない。「896自治体消滅」の現実がこれだ。自らそういう状態をつくって、結局は自衛隊2万5千人と事故頻発の米軍輸送機オスプレイ2機を戦争訓練として投入し、「緊急事態条項」導入＝改憲を狙っているのが安倍である。

国鉄分割・民営が元凶

新自由主義による自治体消滅を促進してきた元凶が国鉄分割・民営化であり、ローカル線切り捨てだ。九州新幹線の回送列車が走行中に全車両脱線した。線路にも車軸にも、脱線防止設備がついていなかった。

さらに九州新幹線は、50カ所で防音壁が落下し、25カ所で高架橋の桁がずれたり亀裂が入ったりしている。ホームを支えるコンクリート柱の破損も20本。在来線もまともではない。しかし金もうけ第一のJR九州は、安全崩壊状態のまま列車運行を強行してきたのである。

こうした中で、JRの鉄道労組として動労総連合・九州が現地救援本部を設置して立ち上がった。「私たちは、今後も熊本大震災でむき出しになった新自由主義の破綻、JRの安全無視と対決し、鉄道の安全を守り続ける」という4・18声明（3面に掲載）の決意に込め、ともに全国で立ち上がろう。

川内原発止めない安倍

川内原発は直ちに止める！ すべてのの原発を廃炉にせよ！ もはやそれしかない。ところが安倍政権と九州電力は震源が川内原発の近くへと拡大し、すでに震度5弱に見舞われているにもかかわらず、「異常はない」と川内原発1、2号機の運転を続けている。福島原発と同じく、被災者たちの不安や怒りなど一顧だにせず、原子力防災担当相・丸川珠代も、官房長官・菅義偉も、「川内原発を停止させる必要はない」と言い張っている。大事故が起きるまで動かすというのだ！

今回の大地震は、関東から九州まで続く約1千kmの大断層＝中央構造線の延長上の別府―島原地溝帯にある活断層で起きている。今後、震源が北東にのび中央構造線に波及する可能性もある。そこには四国電力が7月再稼働を策動する伊方原発（愛媛県）がある。また震源は南西に移動する兆候もあり、その延長線上には現在唯一稼働中の川内原発があるのだ。さらに震源は阿蘇山、九重山など火山とも深くつながっているのである。

熊本で「本震」が発生した翌日、17日には、南米エクアドルをマグニチュード7・8の巨大地震が襲った（死者500人以上）。日本とエクアドルは、環太平洋地震帯（火山帯）で密接につながっている。そこには452の火山があり（世界の活火山・休火山の70%以上）、ここで世界の全地震の約90%、最大規模の地震の約81%が発生しているのだ。

3・11 福島を再び繰り返すことは絶対に許されない。安倍が熊本でやっていることは福島原発そのものである。川内原発を今すぐ止める！ 全原発を廃炉にせよ！

さらに九州・熊本大震災は、大恐慌下で危機を深める日帝・資本と安倍を激

しく直撃している。九州には部品を含めた大手製造業の生産拠点が集中している。ソニー、パナソニック、ホンダ、三菱電機、三菱自動車、トヨタ、日産、ルネサスなどの大企業は、3・11の時と同じくサプライチェーンを破壊・寸断され、全国で操業停止が相次いでいる。

また5月伊勢志摩サミットから7月衆参ダブル選挙への政治日程は、安倍の思惑通りにならず、ズタズタに破産を強制されつつある。焦りに駆られた安倍が自衛隊や米軍を全面出動させ、この機をとらえて「緊急事態条項」の新設＝改憲攻撃を強めようとしていることに、激しい怒りをたたきつけよう。

6・5国鉄全国集会へ

一方では米日韓の朝鮮戦争が超切迫し、一触即発の危機が続いている。日帝・安倍とブルジョアジーの脳裏には、大恐慌と戦争切迫下で、労働者階級人民の怒りが爆発し、ゼネストと革命情勢が成熟していることへの恐怖がよぎっている。だから3・11でやったように、「挙国一致」の震災復興キャンペーンに労働者人民を動員し、階級闘争を圧殺して戦争・改憲攻撃を強めようとしている。

また「同一労働同一賃金」や、改悪派遣法、改定労働契約法・就業規則改悪などによる解雇自由、生涯非正規・総非正規職化の攻撃で、国鉄分割・民営化以来の労働組合解体、総翼賛化を推し進めようとしている。

だが5年前の「3・11」のダメージは日帝・安倍とブルジョアジーに重くのしかかっている。動労総連合・九州を先頭に、全国の労働者と労働組合が「被災地救援・川内原発止めろ！」の闘いに総決起し、崖っぷちで凶暴化する安倍

せいけん だとう
政権を打倒しよう。

そして全国大学での新歓闘争、4・28 — 5・15 沖縄闘争、5・1 メーデーを
ぜんりょく たたか なに こくてつとうそうぜんこくうんどうしゅうかい だいけっしゅう だいせい
全力で闘い、そこから何よりも6・5 国鉄闘争全国運動集会の大結集・大成
こう がつせんきょけっせん しょうり げつ だいけっせん つ すす こくてつけっせん きじく
功と7月選挙決戦の勝利へ、3カ月の大決戦に突き進もう。国鉄決戦を基軸に、
き かんし ぜんしん くし ひ さい ち きゅうえん かいきゅうてきけっ き いったい たたか
機関紙『前進』を駆使して被災地救援の階級的決起と一体で闘いぬこう。